

## 浅間山周辺の地殻変動\*

### Crustal Deformations around Asama Volcano

国土地理院

Geographical Survey Institute

第1図は、浅間山周辺のGPS連続観測結果である。浅間山をまたぐ位置関係にある嬭恋と東部間の基線(第1図)は、観測が1996年4月から始まっているが、短縮と停滞を繰り返しており、伸張と浅間山の地震活動の活発化の間には、相関があることが知られている。最近では2003年7月頃から短縮が続いていたように見えていたが、2004年4月頃から伸びに転じ、2004年9月1日の噴火を迎えた。その後一時的に停滞したものの、10月頃からまた伸び始めている。伸びは1年近く続いたものの、2005年10月の時点では、停滞し始めているように見える。図の下段は浅間山を挟む2つの基線の最近の距離変化時系列であるが、両方の基線とも距離変化が停滞しており、2004年以来続いていた浅間山山体の膨張が停止した可能性がある。

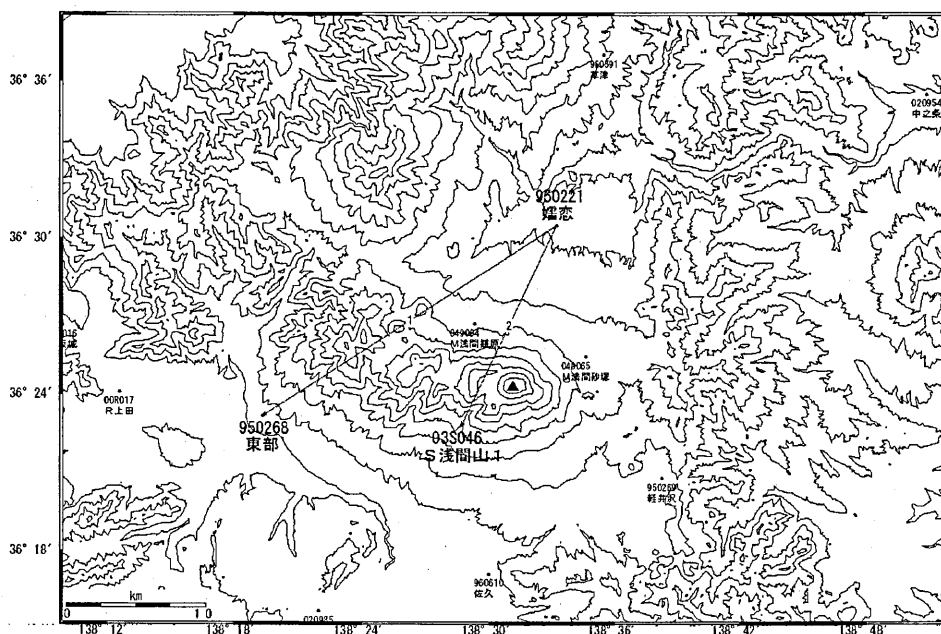
#### 参 考 文 献

村上亮 (2005) GPS 連続観測結果が示唆する浅間火山のマグマ供給系, 火山, 50, 5, pp. 347-361.

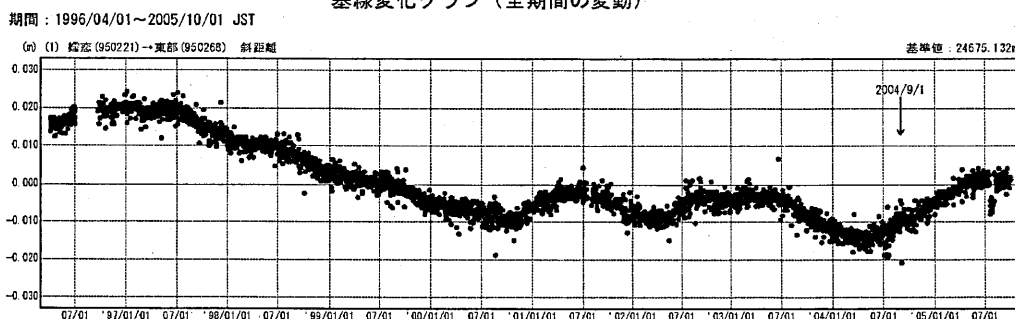
---

\* Received 10 March, 2006

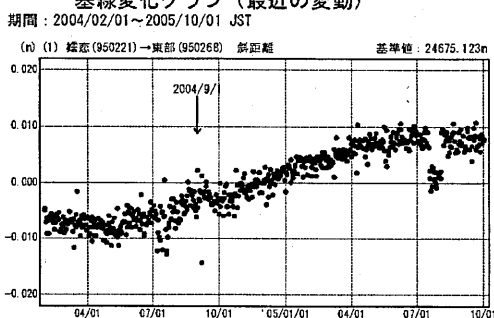
浅間山周辺 GPS連続観測基線図 (1)



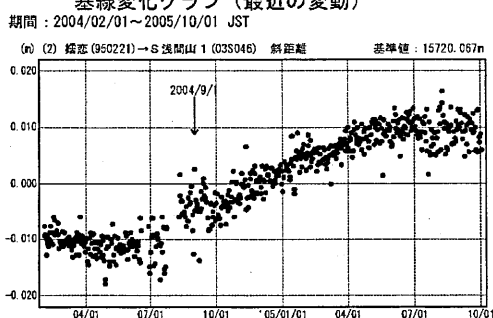
基線変化グラフ (全期間の変動)



基線変化グラフ (最近の変動)



基線変化グラフ (最近の変動)



※電子基準点の保守等による変動は補正済み

国土地理院

●— [F2:最終解]

第1図 浅間山周辺 GPS 連続観測結果

Fig. 1 (A) Site location map of the GPS continuous measurements network around the Asama Volcano.  
 (B) Distance change time series of the baseline between 950221 and 950268 during April 1996 to October 2005.

(C) Distance change time series plots of baseline 950221-950268 and 950221-03S046 during February 2004 to October 2005.